田辺市議会だより

令和８年
（２０２６年）
11月号

発行／田辺市議会　編集／広報委員会

第３回（９月）定例会
令和８年度田辺市一般会計補正予算などを可決







【目次】

主な議案の内容 …… Ｐ２
議決結果、意見書の提出 …… Ｐ２～Ｐ３
一般質問 …… Ｐ４～Ｐ６
田辺市高校生議会 …… Ｐ６～Ｐ７
第４回（12月）定例会予定ほか … Ｐ８

表紙の写真

本市議会では、８月７日（金）に２度目となる「高校生議会」を開催しました。当日は２つのグループに分かれ「高校生の私たちが、地域のためにしたいこと」をテーマに議員との意見交換の後、議場にて意見発表を行いました。高校生からは各地域における課題に対する問題意識だけでなく、「自分たちにも何かできるのではないか」という前向きな提案が数多く出され、大変有意義な高校生議会となりました。

第3回（9月）定例会

第3回（9月）定例会は、9月2日から25日までの24日間の会期で開催し、「田辺市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について」など、市長提出議案20件を全て原案のとおり可決しました。

また、専決処分事項についてなど3件の報告を受けたほか、議員提出議案1件を可決しました。

なお、令和7年度一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算議案等11件は、各常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査としました。

本定例会では、9月11日及び14日の2日間にわたり、10人の議員が一般質問を行いました。

主な議案の内容

補正予算

●議案第15号

一般会計補正予算（第3号）

1億2038万2000円

・田辺市土地開発公社の解散に伴う補助金等の減額

△2919万4000円

田辺市土地開発公社の解散手続を進めることにより、不用となる補助金等の関連予算を減額する。

・田辺周辺広域市町村圏組合負担金の増額

378万4000円

田辺周辺広域市町村圏組合が進める新たなごみ処理施設の整備について、取組の進捗に合わせ負担金を増額する。

・太陽光発電設備・蓄電池導入支援事業補助金の増額

492万円

申請件数の増加に対応するため、予算を増額する。

・製材施設等生産力高度化支援補助金

1894万2000円

県の補助事業の採択を受けて、民間の製材業者等が実施するエネルギー効率または生産効率等に優れた省力化機械の導入に対して補助を行う。

・林業機械生産力高度化支援補助金

1386万円

県の補助事業の採択を受けて、民間の林業事業者が実施するエネルギー効率または生産効率等に優れた省力化機械の導入に対して補助を行う。

・民間施設の寄附受入れに伴う施設の修繕

260万円

市有地上に所在する民間施設について、事業者から寄附を受け入れ、他の事業者に貸付けを行うため、必要な施設の修繕を行う。

・創業及び事業規模拡大支援補助金の増額

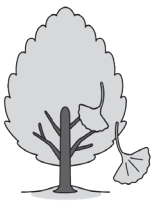
500万円

申請件数の増加に対応するため、予算を増額する。

・寄附金受入れによる美術展覧会の充実

100万円

田辺市立美術館開館30周年記念特別展の開催に際し寄附金をいただいたことから、当該寄附金を活用し、展覧会の充実を図る。



議決結果

第3回（9月）定例会

件名		議決結果
3定議案第1号	田辺市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	原案可決（全会一致）
3定議案第2号	田辺市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	
3定議案第3号	田辺市営住宅条例の一部改正について	
3定議案第4号	工事請負契約の締結について 林道東の川線（新高尾トンネル）防災設備改修工事	
3定議案第5号	工事請負契約の締結について 芳養町芳養松原3号線（はやざと大橋）橋梁改良工事	
3定議案第6号	工事請負契約の締結について 背戸川第一ポンプ場ポンプ設備更新工事	

議決結果

第３回（９月）定例会

件　　名		議決結果
３定議案第７号	工事請負変更契約の締結について **串峠平治川線道路改良工事**	原案可決 （全会一致）
３定議案第８号	工事請負変更契約の締結について **川合岩崎線道路局部改良工事**	
３定議案第９号	物品購入契約の締結について **伸縮ブーム付多目的消防ポンプ自動車**	
３定議案第 10 号	田辺市土地開発公社の解散について	
３定議案第 11 号	田辺市地域振興基金条例の一部改正について	
３定議案第 12 号	土地の取得について	
３定議案第 13 号	権利の放棄について	
３定議案第 14 号	田辺市辺地総合整備計画の変更について	
３定議案第 15 号	令和８年度田辺市一般会計補正予算（第３号）	
３定議案第 16 号	令和８年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	
３定議案第 17 号	令和８年度田辺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	
３定議案第 18 号	令和８年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第１号）	
３定議案第 19 号	令和８年度田辺市水道事業会計補正予算（第１号）	
３定議案第 20 号	令和８年度田辺市下水道事業会計補正予算（第１号）	
３定発議第１号	紀南地域に大学入学共通テスト試験会場の設置を求める意見書の提出について	

※議案番号の前の「３定」は９月定例会を表しています。
※議案第〇号は市長提出議案、発議第〇号は議員・委員会提出議案です。

第３回（９月）定例会で可決した意見書

第３回（９月）定例会では、次の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関へ提出しました。

紀南地域に大学入学共通テスト試験会場の設置を求める意見書

（令和８年９月 25 日提出）　※抜粋

大学入学共通テストは、高等教育機関への進学を目指す多くの受験生にとって、将来を左右する極めて重要な試験である。

田辺市をはじめ紀南地域における受験生の多くは、当日の公共交通機関の遅延リスクや体調管理等を考慮し、試験の前日に和歌山市内などのホテルへの宿泊を余儀なくされ、自宅を離れ、慣れないホテルで過ごす心身の負担は、決して小さくない。

もとより、紀南地域における受験生の多くは、紀北地域の受験生に比して不公平な受験環境の下で大学入学共通テストに挑んでいるが、これは、生まれ育った地域の違いによる、言うなれば“地域格差”であり、教育の機会均等という観点から勘案しても、その是正が強く求められる。

よって、政府、県当局及び関係機関におかれては、県内全ての受験生に公平な受験環境を担保するため、下記の事項を可及的速やかに実施されるよう強く要望する。

記

１．紀南地域に大学入学共通テストの試験会場を早急に設置すること。

※ 議 は議員からの質問・意見、市 は市当局の答弁を表しています。
※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

一般質問

北田健治議員



農業における渇水対策について

議 夏場の水不足は、基幹産業である農業に大打撃を与える。梅にとっては、来年の開花や結実に影響するおそれがあり、生産者だけでなく、加工や流通、販売など地域産業に深刻な事態を招く可能性がある。近年の気象状況から、前例のない水不足が起こることも否定できない。農業における渇水対策を問う。

市 今回の渇水を一過性のものとして捉えず、中長期的に農業用水の安定確保やかん水対策を考える必要がある。地域の実情や農家の皆様のニーズも踏まえ、どのような支援が可能か緊急時の対応も含め、検討してまいりたい。

前田かよ議員



終戦記念日における黙とうの呼びかけ文について

議 本市は終戦記念日に防災行政無線やＳＮＳで「**310万人余りの戦没者**に黙とうを」と日本の戦没者に限定して呼びかけている。二度と同じ惨禍を繰り返さないために、史実に基づいた継承が重要だ。我が国が掲げる「世界の恒久平和」の理念を真に尊重するならば、自国の被害のみを連想させる特定数値に限定せず、第２次世界大戦で日本の侵略戦争により国境を越えて命を失われた全ての人々へと、祈りの視界を広げることを求める。他の多くの自治体のように、**包括的な呼びかけ文への見直しを**。

市 現行の呼びかけ文は全国戦没者追悼式の趣旨を踏まえた内容であるが、他自治体の事例を踏まえ検討してまいりたい。

谷　貞見議員



生活道路における法定速度引下げへの対応と市民の安心・安全について

議 今回の法定速度の引下げを市民への規制強化として捉えるだけではなく、「歩行者に優しいまちづくり」や「安心して暮らせる地域づくり」の契機と捉え、関係機関等と連携した総合的な交通安全対策を進めていく考えは。

市 今回の制度改正を、市民が交通安全について改めて考え、子供から高齢者まで誰もが安心して道路を利用できる地域づくりを進める契機と捉えている。市民のかけがえのない命と暮らしを守ることを第一に、交通安全意識の醸成と安全な道路環境づくりを進め、交通事故のない安全・安心なまちづくりに取り組む。

久保浩二議員



第３次田辺市総合計画（ウェルビーイング多面的な充実や満足感）について

議 旧４町村の医療体制で龍神中央診療所の医師が９月で退職すると聞いている。他の診療所も診療体制が週に１日や２日程度にとどまっており、現在も十分とは言えない状況だ。今後も診療体制を維持できるのか。龍神中央診療所はどうなるのか。

市 医師の高齢化により後任医師の確保が課題であり、診療体制を縮小せざるを得ない状況になるなど、厳しい施設運営が続いている。地域住民が住み慣れた地域で安心して医療を受ける機会を確保するため、県医務課へ医師派遣の働きかけ、基幹病院や医師会への協力依頼などに努める。

議 診療所がなくなれば、遠くの病院に通わなければならず、体の健康、心の健康だけでなく、経済的にも大変な負担増になる。診療体制を維持するため、市として責任を持つべきだ。

一般質問

山本竜児議員



田辺市の「人権文化の素地」を次のまちづくりへについて

議 田辺市には古くから全ての人を温かく受け入れてきた人権を尊重する文化の素地がある。国内外で格差や分断が指摘される中、生きづらさを感じている人に寄り添う都市像を描いてみては。

市 本市の歴史や文化の中で育まれてきた、多様な人々を受け入れ、人と人とのつながりを大切にする精神こそが、本市の大きな強みであり、将来にわたって大切にしていくべき地域の財産の一つであると考えている。

人権・文化・観光などの各施策においてそれぞれの特性を生かしながら連携を深め、市民・関係機関等多様な主体の参画や交流を促進することにより、人と人、人と地域とのつながりを育み、本市ならではの魅力や価値をさらに高めながら、持続可能なまちづくりに向けて取り組んでいく。

松上京子議員



安心・安全で持続可能な水道事業について

議 水道事業において、管路の老朽化と熟練職員の高齢化が課題となっている。漏水リスクを減らすため、常時見守り型の漏水監視センサーのようなデジタル技術の活用と人材育成が重要だと考えるが、市の見解は。

市 漏水対策は目視巡回や路面音聴調査を基本としながら、新しい漏水監視技術についても研究を進めていく。今後も管路更新や耐震化を計画的に進めるとともに、デジタル技術の活用による効率化、専門的知識や技術の継承、市民への情報発信の充実に努め、持続可能な水道事業の構築に取り組みたい。

加藤喜則議員



医療的ケア児・者への非常用電源の給付拡充について

議 災害時の停電は、人工呼吸器等を使用する医療的ケア児・者の生命に直結するため、その人数や非常用電源の確保状況の把握とともに、日常生活用具給付等事業へ自家発電装置・蓄電池を追加すべきではないか。

市 本市では、医療的ケア児13名のうち1名が人工呼吸器等を使用しているが、医療的ケア者は、十分に把握できていないため、関係機関と連携して実態把握を進めていく。また、非常用電源の給付拡充については、他自治体の基準を踏まえ慎重に精査したい。

議 早急に取り組んでいただきたい。

髙栖浩史議員



地籍調査の完了時期について

議 県内においては、地籍調査が完了している市町もあるが、本市の完了時期はいつか。

市 国が「第7次国土調査事業十箇年計画」を策定した令和2年度時点では、本市における地籍調査の事業完了年度を令和32年度としていたが、昨今の人件費や資材費の高騰に伴う事業費の増加等により、完了年度が遅れる可能性が高くなっている。国・県との連携を密にし、先進技術の活用による効率化を図り、可能な限り早期の完了を目指していきたい。

橘　智史議員



一次産業の担い手育成と技術継承について

議 人口減少が進む中で、担い手の確保と同時に今ある技術を次の世代へ渡す仕組みが必要。そのために農林水産業など一次産業の優れた技術や経験を持つ方を「地域マイスター」として位置づけ、次世代に技術継承していく制度（地域マイスター制度）を創設しては。

市 現在も農林水産業の各分野で人材育成や技術継承に向けた取組はあるが、若い世代や新規就業者が地域の実践的な技術や知識を学べる環境づくりも重要と認識している。一方で、地域の熟練者をマイスターのような形で位置づけ地域教育者として活躍することは知識や技能を継承する上で有効である。

笠松美奈議員



頻発する自然災害に対応する防災・減災体制について

議 **避難所運営訓練**についての考えは。

市 災害時の円滑な避難所運営のため重要。自主防災組織の担い手不足が課題だが、地域の小中学校とも連携し将来の地域防災を担う人材育成につなげたい。

議 住民一人一人の防災行動計画**マイ・タイムライン**の作成支援について問う。

市 自らの避難行動を事前に考え、適切かつ迅速な避難のため有効な取組であり、周知に取り組みたい。

議 **田辺周辺広域災害対応協議会**の目的は。

市 田辺市及び周辺４町が連携し、大規模災害に対し、広域的避難、災害対応及び早期復旧を図る。

議 **避難所の環境改善**も広域で連携して国に要望していただきたい。

田辺市高校生議会

８月７日（金）に「田辺市高校生議会」を開催しました。将来の担い手である高校生に議会への興味や政治への関心を持っていただくとともに、まちづくりに対する思いや意見を今後の市政運営の参考とさせていただく観点から田辺市議会が主催したものです。

２回目となる今回は、田辺工業高等学校、南部高等学校龍神分校及び南紀高等学校から８名の高校生が参加してくれました。



当日のスケジュール
- オリエンテーション
- 一日の流れの説明、自己紹介
- 意見交換
- 意見発表まとめ作業
- 意見発表
- 記念撮影

意見交換

「高校生の私たちが、地域のためにしたいこと！」をテーマに、高校生８人と市議会議員８人が２つのグループに分かれて意見交換し、その内容を高校生が取りまとめました。



意見発表（抜粋）

※３つの意見について発表がありました。

１．地域の課題
　自転車と車の安全性についてが課題だと思いました。
　なぜなら、通学中の事故を聞くのが少なくなかったり、道幅の問題で車と接触しそうになったり、車を避けようとしての転倒があったりするからです。

２．解決策とアイデア
　学校内で、危険な場所をポスターなどで共有する。
　事故防止教室など、ルールの再確認や呼びかけを以前よりも増やすことなど。

３．未来のビジョン（まとめ）
　町内会や学校、市議会と規模を大きくしていき、自転車と車の安全性を図り、事故を防いで自転車と車がお互い安心・安全に共存できる町をつくる。





１．地域の課題
　龍神村の観光客数をどう増やすか

２．解決策とアイデア
　空き家を使ったワーケーション
　自然を使ったスポーツ合宿
　トレイルマラソン大会の実施

３．未来のビジョン（まとめ）
　ＳＮＳなどを活用したＰＲ
　今の美しい自然環境をキープするための整備作業への積極的な参加

１．地域の課題
　地域資源や弁慶まつりなど、地域イベントはあるが、県外の方にあまり知られていない。

２．解決策とアイデア
　利用者が多いという観点から、ＳＮＳを使った周知
　→高校の部活で発信する初動段階で、和歌山県出身者に限らず、有名人に発信してもらう。

３．未来のビジョン（まとめ）
　自分は、地域のイベントや太鼓関係の団体に参加しています。
　今後、地域内外の方々に知ってもらうために、自分も田辺市に関わらせていただいている間は、新しい若者ならではのイベントを作っていきたいと思っています。



◆高校生からの感想◆

・高校生の意見を熱心に聞いていただき、とてもいい経験になりました。
・これまで、こういった機会がなかったので、すごく楽しかったです。
・様々な意見が聞けて、とてもよかったなと思います。
・とても有意義で勉強になる時間でした。　・議員との交流は新鮮で楽しかった。　など

議会活動日誌

8月	【27日】議会運営委員会
9月	【 2日】定例会（1日目） 【11日】定例会（2日目）、議会運営委員会 【14日】定例会（3日目） 【15日】産業建設委員会、文教厚生委員会 【16日】総務企画委員会 【25日】定例会（4日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、田辺ＯＮＥ未来デザイン調査特別委員会
10月	【 6日】産業建設委員会 【 7日】産業建設委員会 【 8日】文教厚生委員会 【 9日】文教厚生委員会 【13日】総務企画委員会 【14日】総務企画委員会 【15日】広報委員会

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

【連絡先】　田辺市議会事務局
〒646-8545　田辺市東山一丁目５－１
TEL　0739-26-9940（直通）
FAX　0739-25-5579
E-mail：gikai@city.tanabe.lg.jp
田辺市議会ホームページ
https://www.city.tanabe.lg.jp/soshiki/gikai/index.html

◀ こちらからもホームページにアクセスできます

次回の「市議会だより」
2月号
（第４回（12月）定例会の報告）

令和８年第４回（12月）定例会の会期日程（予定）

第４回（12月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。
日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
11	25	本会議１日目（決算審査委員長報告、議案審議、議案の提案説明）
12	4	本会議２日目（一般質問）
	7	本会議３日目（一般質問）
	8	本会議４日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	9・10	常任委員会（付託議案に係る審査）
	15	本会議５日目（委員長報告、議案審議）

※ 本会議の開会予定時刻は、11月25日・12月15日が午後１時、それ以外は午前10時です。

編集後記

今年の夏は生命の危険さえ感じるような厳しい暑さが続きました。

地球規模の温暖化は、便利さや成長を追求する資本主義経済と深く結びついています。ドイツの思想家カール・マルクスが『資本論』の中で述べたように、経済の発展と地球環境の保全をどのように両立させていくのか、私たちは今まさに大きな課題に直面しています。

次世代に豊かな自然をつないでいくために私たちはどう歩むべきか。今年の猛暑は、暮らしの中での選択と資本主義経済の在り方を見つめ直すきっかけを与えているのかもしれません。

（前田）

広報委員会
委員長　前田　かよ
副委員長　林　謙二
委員　山本　竜児
〃　笠松　美奈
〃　北田　健治